

## 令和6年度 更北公民館運営審議会 概要

- 1 日 時 令和7年2月19日（水）午後2時から3時30分まで
- 2 場 所 更北公民館 学習室1
- 3 出席者 委 員 9名（定数10名中1名欠席）  
事務局 2名  
傍聴者 なし
- 4 議事の前に行ったこと
  - ・運営審議会会長に山崎寛子委員が選出された。
  - ・会長職務代理者に峯村早苗委員が指名された。
- 5 議 事
  - (1) 令和6年度事業経過について
  - (2) 令和7年度事業計画（案）について
  - (3) その他
- 6 議事概要
  - (1) 令和6年度事業経過について
    - ・事務局から令和6年度更北公民館事業経過として、事業名及び事業の概要、公民館の利用状況等の報告を行った。
    - ・事務局から、読み聞かせ「おはなしバスケット」（読み聞かせボランティア団体）から絵本70冊の寄贈があった件を報告。絵本の充実を踏まえて、「えほんのおへや」をより活用していく旨を報告した。
  - (2) 令和7年度事業計画（案）について承認された。
  - (3) その他
    - ・小学校長、中学校長から、学校教育の概要等について報告があり、地域でも積極的に協力してきたいとの声が寄せられた。
- 7 議事詳細
  - ・令和7年度事業計画（案）について、以下のような審議がなされた。
    - 委 員 音楽講座、「ツナガル、イノチ」講座は、何回開催する予定か。また、ホームページと併せて、YouTube活用を検討してはどうか。
    - 事務局 音楽講座を作新大学講座で1回予定。主催講座で1～2回開催検討中。「ツナガル、イノチ」講座は年1回開催予定。  
YouTube活用について、手続き上の課題を含めて検討していく。
    - 事務局 「えほんのおへや」活用として、読み聞かせ「おはなしバスケット」メンバーの対応可能な日時で、「えほんのおへや」の土日開放

を検討中。

- 委員 「えほんのおへや」について、市民新聞の記事を見た。よい取り組みなので、別メディアでの広報もご検討いただきたい。
- 事務局 INC長野ケーブルテレビに取材してもらった。また、全戸配布となる3/1付け館報への掲載を予定。NET活用等も検討したい。
- 委員 公民館主催講座を見ると住自協でも同様の講座を開催している。広く周知していく意味で、住自協や民協との共催も検討した方がよい。また、どの会場に行けばどんな講座を行っているのか、市民に分かりやすいようにした方がよい。
- 公民館事業を契機に地域の生涯学習を、地域が一丸となって取り組めるようにもっていければよい。
- 事務局 他団体共催により、よりよい事業・講座ができる場合は共催を検討する。また、どこへ行けばどんな講座が受講できるのか、公民館で案内できるような情報を収集していきたい。
- 委員 以前「食育マナビー」という「若いお母さん」向けの講座があり、私の娘は熱心に受講した。託児の配慮も含めて、あらためて開催していただけるとありがたい。
- 委員 「若いお母さん」だけでなく、家にとじこもりがちな高齢者や障がい者を対象とした講座も検討してもらいたい。
- 会長 長野市地域包括ケア推進課で推進中の「シン・長野市はつらつ体操」がある。更北地区では住民にとってより身近な30程度の地域公民館で開催し、私もかかわっている。その経験で言えば、とじこもりがちな高齢者等を地域公民館へ呼び寄せることは、困難が多い。
- 委員 公民館講座を契機として、閉じこもりがちな市民への声かけをする選択肢が増えるような、バリアフリーを推進できるような講座を検討してほしい。
- 会長 認知症予防他、様々な講座の開催を要望する声をいただいた。公民館で開催可能な講座から徐々に開催を検討してもらいたい。
- 委員 作新大学園の推進として、作新公開講座で募集チラシを配布してはどうか。
- 事務局 市民新聞へ3/12卒業式の取材を依頼。情報提供の一助となればと思う。
- 委員 作新大学園募集時期は3月だと遅いので2月から開始してもらいたい。3月募集を開始とした経緯として、以前は作新大学園生への希望者が多く、2月募集開始だと人数が多すぎてしまうため、3月の募集開始に切り替えた。
- 応募数が減少している現在、2月へ前倒すべき。県シニア大学が2月募集開始なので同時期がよい。
- 委員 口コミ、知り合いの絆で声掛けをすると募集へより結びついていく。INC長野ケーブルテレビへ声掛けしてみるとよい。
- 会長 公民館でも、様々な募集方法を検討してもらいたい、

- 委員 指定管理で開催した運営委員会では、予算執行に関する諮問事項があった。審議会で、予算執行に関する諮問はしないのか。
- 事務局 指定管理では、長野市からの委託による事業を行っていたため、予算執行に関する諮問が必要だった。しかし、直営化へ移行し、予算執行範囲は指定管理と異なり、かなり限定的で、諮問することが適当ではない。
- 委員 委員として小中学校長にご出席いただいている。学校教育の状況等を、この機会に教えていただけるとありがたい。
- 委員 小学校として合唱団に力を入れており、50名程度の児童が取り組んでいる。各種コンクールへ参加し、参加を希望する児童も多い。公民館等を練習成果発表の場としてもらっている経過もある。
- 小学校活動を地域に周知することは重要で、小学校も地域から多くの恩恵を受けている。将来的に公民館で活動する経験が豊富なボランティアが、児童と交流できれば多くの学びがあるので、検討していきたい。
- 委員 中学校として「子どもフェスタ」を開催。その校外学習として、キャリア教育のための地域学習を計画。キャリア形成という観点で、子どもたちのためになる情報があれば提供いただきたい。
- 特に来年度は、地域の企業に子どもたちが積極的に足を運ぶキャリア学習を推進する計画がある。子どもたちを温かい目で見守っていただき、何かあればご指導もいただきたい。また、地域で学ぶとの観点から公民館事業へも積極的に協力していきたい。
- 事務局 子どもが足を運んでキャリア学習できる企業があれば、中学校へ情報を提供してもらいたい。
- 会長 実際の教育現場の声を校長から伺えることは、大変有意義である。地域でも協力できることはしていきたい。
- 委員 国会では、「子どもの頃から金銭、健康についての教育を行う必要がある」と議論されていると聞いた。実際に学校現場で、そのような教育はなされているのか。
- 委員 中学校で健康教育について、講師を依頼して実施中。金融教育も必要と考えるが、現行カリキュラムの中では難しいところがあり、検討の必要がある。
- 高校へ進学すると投資教育も行われていると聞いている。
- 会長 委員の皆様からの声として、公民館事業への期待が大きいと感じた。このような声を踏まえて、できることから実施していただければありがたい。
- 事務局 本日提出されたご要望について、真摯に検討していきたい。来年度は11月頃開催予定。事前に改めて通知するので、よろしくお願ひしたい。